

大阪を、新しいサッカー都市に!

社団法人 大阪府サッカー協会の取組みについて

関西のスポーツが、野球で回ってきたことは周知の事実だ。しかし、ガンバ大阪、セレッソ大阪という、大阪を拠点とするプロクラブの知名度が近年ますます上がっていることもあり、大阪での「サッカー熱」もすさまじい盛り上がりを見せつつある。大阪を、新たな「サッカー都市」に。社団法人 大阪府サッカー協会の取組みを紹介していく。

取材協力/社団法人 大阪府サッカー協会 専務理事 藤縄信夫氏
<http://www.osaka-fa.jp>



左/2007年4月14日には「万博・大阪サッカーグラウンド」も完成。ハード面も徐々に整いつつある
右/女子の国際交流も盛んだ。2007年7月5日～7日までの日程で韓国京畿道安山市で開催された「第3回韓日国際ユース女子U-18」にて

サッカーファミリーの拡大 キッズ、女子のプレー人口拡大に注目!

関西、特に大阪は、野球を中心にスポーツ文化が発達してきた。戦後、米国主導で行なわれた都市開発において娯楽施設として100箇所以上の野球場が建設されてきたこと、兵庫県に「阪神タイガース」という、全国でも有数の人気チームを抱えていることなど、関西は長年「野球の本場」として、独自のスポーツ文化を形成してきた。

そのような状況の中で、大阪府サッカー協会が最も熱心に取り組んできたことは競技人口の拡大だ。2007年9月末日段階で、第1種(社会人・大学生)の登録は265団体6,452人。第2種(U-18)は247団体8,338人、第3種(U-15)は184団体6,847人、シニアが9団体206人、先日開幕したフリーグに「シュライカー大阪」が加盟し、注目度が大きく増したフットサルでは49団

体1,654人が登録している。第2種のカテゴリでは昨年から「大阪U-17サッカーリーグ」が開設され、普段はなかなか交流し合うことのない、クラブと高校の選手たちが実力を競い合う貴重な機会が設けられた。参加チームは250チームを超えており、クラブ、高校の枠組みを超えた年代別大会としては全国有数の規模となっている。

さらに、第4種(U-12)と女子の伸び幅は目を見張るものがある。第4種は289団体9,075人、女子は38団体661人を数えるまでになった。4種に関しては、「キッズ委員会」が中心となり「いつでも・だれでも・どこでも」をコンセプトにフェスティバル/イベントの開催、無償でのキッズ巡回指導・キッズリーグ・キッズリーダー養成講習会の開催を行っており今年度からは「エリート養

社団法人大阪府サッカー協会専務理事の藤縄信夫氏。「これからもサッカーファミリーの拡大に努めます」



成システムの確立」の取組みとしてキッズエリートもスタートした。小学4年生以下を対象としたU-10のリーグ戦も整備されており、今年は156チームが参加した。ユース年代では大阪市と協力しながら、アジアのチームと盛んに交流も行っており、中国(上海)、韓国と、毎年国際大会を開催している。女子も、Lリーグに所属するスベランツァFC高槻をはじめ、38団体が登録しており、各種年代別大会の充実ぶりは全国でもトップクラスだ。

大阪を全国に名立たる「サッカー都市」に成長させていくために、サッカーファミリーの裾野拡大を目指した活動は続いていく。

(仮称)堺臨海部サッカー・ナショナルトレーニングセンター構想

大阪に、「サッカーのメッカ」が誕生する。堺市堺区の埋め立て地に国内最大規模の「(仮称)堺臨海部サッカー・ナショナルトレーニングセンター」が建設されることになった。約33ヘクタールの広大な敷地に、5面の天然芝のサッカーピッチ、9面の人工芝ピッチ、8面の人工芝フットサルピッチ、トラック・フィールド、1棟のクラブハウスに、駐車場、ロッカーハウスが建てられる。関連施設として、サイクリング、ウォーキングコース、多目的スポーツ広場の整備も予定されている。

アクセスの利便性が高いことも、最大の魅

力だ。関西空港や大阪空港、JR新大阪駅から車で30分以内で、今後さらに道路整備などが見込まれる場所で、大阪のあらゆる年代のサッカープレーヤーが集まる、文字どおりの中心地となることは間違いない。一部サッカー場には観客席や照明も備え付けられる。南に、昨年オープンした巨大商業・娯楽施設があり、西隣にも多目的スポーツ広場などを設ける予定で、大阪府臨海地域のイメージ刷新の核となりそうな大規模な構想となっている。

このサッカー・ナショナルトレーニングセン



(仮称)堺臨海部サッカー・ナショナルトレーニングセンターイメージ図
ターは、2010年度の完成が見込まれている。この施設が将来の「サッカー都市大阪」、引いては「アジアのサッカー活動の拠点」の象徴となることは間違いないだろう。